

2026年度 事業計画

2026年4月1日～2027年3月31日

＜2026年度 事業計画＞

(2026年4月1日～2027年3月31日)

＜Vision＞

「 広告業界の未来のために、JAAAは広告の価値と魅力を創造し向上させるエンジンとなる 」

昨年は多様な事象が交錯する激動の1年となりましたが、広告業界において特筆すべきは「大阪・関西万博」の成功です。開幕当初の懸念を払拭し、最終的に2,558万人もの来場者と、3兆円を超える経済効果を創出しました。デジタル化が高度に進展した現代においても、空間を共有し五感に訴えかけるリアルな体験が人々の心を強く動かすという事実は、広告が内包する本質的な力を改めて実証するものでありました。一方で、米国との関税交渉に端を発する経済的課題、企業へのサイバー攻撃、メディアに対する信頼性の揺らぎなど、広告業界に多大な影響を及ぼす事象も頻発しました。このような環境下において、当協会は無事に創立75周年を迎えるに至りました。日頃からの協会活動へのご理解とご協力に対し、厚く御礼申し上げます。周年事業を通じて「広告の現在地」を確認し、未来への向き合い方を探求する契機を提供することで、広告が果たすべき社会的役割を皆様と再考する一助となったものと確信しております。

2026年におきましても、依然として先行き不透明な情勢が継続しております。関税交渉の余波、緊迫する国際情勢、国内における構造的な物価高や人手不足など、社会を覆う不確定要素は山積しております。生活者が将来への不安を抱く昨今、私たち広告業に求められるのは、単なる情報伝達にとどまらず、生活者の心理に寄り添い、確かな未来の兆しをクリエイティビティの力によって提示することに他なりません。また、生成AIが単なる「効率化ツール」から、自らの能力を拡張させる「共創パートナー」へと変容しつつあるなか、AIが導出する「最適解」を基盤としつつ、プロフェッショナルとしての「意志」と「感性」を掛け合わせることで、広告はビジネスデザイン領域へとその役割を拡張していくものと推察いたします。JAAAといたしましても、自らの立ち位置を再認識するとともに、会員各社の皆様との協働を通じて、広告業界の健全な発展および広告活動の改善・向上に関する事業を、一層進化させてまいります。

＜Action Plan＞

1. 時流に即した活動の積極的推進

一定規模以上の企業において義務化となる「CO₂排出量開示」、AIの進化に伴い生じる新たな対応、広告ビジネスにおけるプレイヤーの多様化、ならびに生活者・広告主の「広告に対する意識と期待の変化」など、山積する課題に対して、適切かつ機動的な活動を継続・拡大してまいります。

2. 業界の信頼性向上に向けた対応の強化

取引適正化に向けた自主行動計画の推進をはじめ、インターネット広告に関する諸課題の解決、広告の価値および市場の成長に寄与する共通指標の推進等について、各広告関係団体等との連携強化を通じて力強く推進してまいります。

3. 会員社への提供価値の最大化と業務効率化への取り組み

当協会自身の「現在地」を客観的に再認識した上で、前例踏襲から脱却し、会員各社の共通利益に資する価値提供を加速させます。その実現に向け、組織の業務効率化を含む協会自らのアップデートに果敢に挑戦してまいります。

<各委員会 事業計画>

◆ビジネス統括委員会（担当理事：神田橋治 委員長：石川恵太）

広告会社の経営合理化に関する諸問題を研究する。

1. 委員会活動

経理委員会、情報システム委員会、法務委員会、制作取引委員会、営業委員会、著作権委員会、広告の機能と役割研究委員会、その他関係するワーキンググループ等からの報告を受ける

2. その他

広告業界の課題を整理し意見交換やディスカッションを行う

・経理委員会（委員長：長森秀樹）

1. 経理業務に関する情報交換、課題の検討、研究を行う
2. 会員社にむけて、経理業務に関わる情報の効果的な発信を行う

・情報システム委員会（委員長：奥村卓也）

情報システムに関連する情報交換を行い、共有できる情報を会員社に発信していく。

1. 委員各社の情報交換

- ①情報システムに関する定期アンケートを実施しその結果をJAAAウェブサイト等を通じて会員社へ報告する
- ②直近の課題について委員各社間で情報共有を図る

・法務委員会（委員長：長谷川雅典）

1. 法務関連問題への対応と会員社への情報発信
2. 広告法務セミナーへの対応・実施協力

3. 日本アドバタイザーズ協会 法規制セミナー講師派遣（著作権ワーキンググループ）
4. JAAA会員社・委員会向けセミナーや勉強会の実施（著作権ワーキンググループ）

・**制作取引委員会（委員長：沼澤忍）**

1. 「持続可能なパートナーシップ構築のためのプロセスマネジメントハンドブック（2025年10月発行）」の定期的な見直しと更新
2. CM素材オンライン運用に関する他団体との連携協力
3. 字幕付きCM普及推進協議会（構成3団体：日本アドバタイザーズ協会・日本民間放送連盟・日本広告業協会）への協力
4. 広告会社の制作取引に関する情報共有、意見交換、課題対応等

・**営業委員会（委員長：森宗秀敏）**

広告会社の営業諸課題について会員社営業セクションへの情報共有を行うとともに、各委員会の課題解決に際して会員社営業セクションからのフィードバックを行う。

1. 広告会社の営業課題の情報共有、他団体との意見交換の実施

・**広告の機能と役割研究委員会（委員長：河原大助）**

新たなテーマで広告の「機能と役割」を調査分析し、会員社に向けてナレッジを発信することで広告の価値向上に寄与する。

・**脱炭素化委員会（委員長：竹島典明）**

日本におけるマーケティング領域からの二酸化炭素排出量の可視化基準及び算定ツールの構築と標準化、その普及と運用を目指す。

1. 広告制作領域カーボンカリキュレーターの利用開始に向け、関係団体と連携し運用体制の構築及び算定を行う「認定算定者」の育成を行う
2. 広告業界全体で脱炭素化に取り組む機運を醸成すべく、関係団体と連携し会員社内外に向けた普及啓発活動を行う。

◆**メディア委員会（担当理事：高坂俊之 委員長：中村光孝）**

1. 広告メディアに関する研究
 - ①各委員会とプロジェクトによる検討
 - ②関係団体との意見交換
 - ・日本民間放送連盟との協力と連携
 - ・広告メディアに関する関係団体との協議
2. 広告メディアの課題への対応
 - ①各委員会による連携、及び横断対応

・テレビ委員会（委員長：川上純平）

1. テレビ広告取引の研究

①放送確認ワーキンググループ

- ・放送確認書のさらなる精度向上を目的に「放送確認書誤記載調査」について検討とまとめを行う
- ・年2回（上期・下期）の放送確認書誤記載調査を実施する
- ・メディア業務改善委員会の協力を得て、放送確認の次世代方式（ペーパーレス化含む）の推進に協力する

②同時配信検討ワーキンググループ

- ・在京5社同時配信サービス営業ワーキンググループと協調し、リアルタイム配信（同時配信）に関する情報共有や対応を行う

2. テレビCM素材オンライン運用促進への取り組み

①CM運行ワーキンググループ

- ・民放連CM運行ワーキンググループと協調し、CM素材オンライン運用について検討を行う

②共通コード管理センターに対する支援

3. 「テレビ広告取引に関する民放連・業協懇談会（テレビ広告懇談会）」にて、日本民間放送連盟と情報共有、及び協議を行う

4. 字幕付きCM普及推進協議会（第12期）

日本アドバタイザーズ協会が第12期主幹事務局として、協議会の活動を推進する。

①協議会の構成3団体として運営委員による普及推進活動を行う

②全国組織である全日本広告連盟の協力を得て普及活動を行う

③字幕付きCM検討ワーキンググループは協議会の普及活動のサポートを行う

・ラジオ委員会（委員長：木村直之）

1. ラジオCM素材搬入基準適用の普及促進活動

2026年1月実施のラジオCM素材搬入基準一部変更や、2026年3月31日に終了したラジオCM旧基準素材の受け入れを受けての、発生するイレギュラーケースへの対応や、会員社への周知活動の実施

2. ラジオCM取引及び素材のデジタル化運用促進活動

①「ラジオCM素材オンライン送稿システム」によるCM素材搬入とCM進行表のオンラインの改良を進め、ラジオCM運行業務の効率化を推進する

②協会会員社及び全国に向けた、CM素材搬入とCM進行表オンライン利用促進のための「ラジオCM素材オンライン送稿システム」説明会・ウェビナー等の実施

3. ラジオ広告活性化に向けた研究と活動（ヒアリングや情報共有）

①研究……ラジオ広告のデジタルシフトに関する研究・情報収集・啓蒙、radikoを含めたオーディオプラットフォームの研究

②活動……ラジオ広告セミナーの企画と実施、次世代放送確認書へのサポート協力

・**新聞委員会（委員長：出光淑子）**

1. 新聞広告の価値向上
日本新聞協会・日本アドバタイザーズ協会との共催セミナー
2. 新聞広告掲載確認調査
日本新聞協会と連携し、検討を行う

・**雑誌委員会（委員長：前川昌子）**

1. 雑誌広告の価値向上
デジタルコンテンツ価値検証ワーキンググループへの協力

・**OOH委員会（委員長：青柳淳英）**

1. 委員会名称の変更 「交通広告委員会」⇒「OOH委員会」
2. 関係団体との連携と情報交換
 - ①日本鉄道広告協会（JAFRA）との連携
 - ②関東交通広告協議会（11社会）との連携
 - ③日本OOHメジャメント協会（JOAA）との連携
3. OOH広告の価値向上
 - ①OOH広告の課題抽出と検討
 - ②OOH広告セミナーなどの検討

・**インターネット広告委員会（委員長：石川直樹）**

1. デジタルマーケティング領域における広告会社のプレゼンスアップ
 - ①広告関係団体間の連携、共通課題への対応等
 - ②総務省ガイダンスの普及啓発への協力を含む行政機関との連携・対応
 - ③セミナー・外部イベントステージ等の企画、実施
2. インターネット広告に関する情報収集とナレッジシェア、その他課題への対応について
 - ①デジタル広告品質認証機構（JICDAQ）への運営参画
 - ②海賊版サイトへの対応
 - ③各ガイドラインの見直し

・**メディア調査研究委員会（委員長：河村徹生）**

1. メディア調査・メディアソリューションに関する研究・対応
視聴率調査
2. 統合指標に関する研究

・**メディア業務改善委員会（委員長：井上聡）**

1. CM素材オンライン運用に関する諸課題の検討
2. オンライン運用のステークホルダーに対する対応
3. 放送確認書オンラインの計画・検討

4. そのほか各種非効率な業務に対する改善検討
5. 日本広告業協会内の各委員会との連携

◆**クリエイティブ委員会（担当理事：菊地英之 委員長：藤井久）**

クリエイティブ関係者の資質向上とクリエイティブに関する研究、情報交換等を目的に以下の活動を行う。

1. クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞
 - ①2025年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞の表彰
 - ②2026年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞の募集及び審査員の推薦・承認
2. クリエイティブ講演の開催
クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞受賞者の講演などを通じて、クリエイティブの力を世の中にアピールすると同時に、業界のクリエイティブ力強化と、業界若手の育成を推進する
3. クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞の見直し
引き続き、賞と選考（規約、体制、賞の種類）のあり方等の見直しを実施する
4. 広告会社のクリエイティビティについての研究・検討
 - ①広告会社のクリエイティビティについて新たなテーマの検討、ヒアリング等の実施
 - ②他の委員会との連携によるテーマの検討（生成AI、SDGs等）

◆**マネジメント委員会（担当理事：中島明美）**

傘下の8つの事業委員会や一部ビジネス統括委員会傘下の委員会委員長と必要に応じて人材・働き方・社会課題テーマなど会員社のコーポレートガバナンス・業界全体のマネジメント課題を共有し、議論を行う。

・**人材育成委員会（委員長：雑賀啓介）**

1. 第53回新入社員教育セミナー
日 程 2026年4月7日（火）～4月10日（金） 9時30分～16時30分（4日間）
形 式 ハイブリッド形式（1日目～3日目は、講義Zoom配信
4日目はグループディスカッションを機会振興会館にて実施予定）
参加費 44,000円（1名税込）
内 容 ・主なテキストとして「広告ビジネス入門（第25版）」を使用
・グループディスカッションのテーマに
「5年後の広告業界をより発展させるアイデアを考える。」
・グループごとに発表
2. 第31回フォローアップセミナー
日 程 2026年10月～11月、2日間予定
3. 对学生へのアプローチ、マスメディアン等他団体との連携

4. その他

- ①上記以外のセミナーを検討する
- ②各種イベントへの講師派遣は依頼に基づいて適宜対応する

・ 広告ビジネス入門発行委員会（委員長：恒川洋一）

- 1. 「広告ビジネス入門」第26版について
2026年9月に新版の発行に向けて、編集を行う

・ 懸賞論文委員会（委員長：中原敬介）

1. 第55回懸賞論文

①表彰式

日 時 2026年5月29日（金） 定時総会・表彰式

②入賞・入選作品集の発行

発行日 2026年5月29日（金）

③広報施策

・ウェブサイトファイナリスト作品（PDF）掲載

2. 第56回懸賞論文募集

①募集要項

1) 募集部門：

『論文』 課題「広告の終わり、あるいは始まり」

『私の言いたいこと』

一般部門（論述形式・動画形式）、新人部門（論述形式・動画形式）、特別部門

2) 募集期間：2026年6月1日（月）～9月30日（水）

3) 審査：2026年10月中旬開始

②応募の促進

・SNS「珠玉のワンフレーズ」

・エントリー説明会の実施

・論文受賞者座談会

・新人座談会 他

・ 海外交流委員会（委員長：渡辺学）

1. 海外セミナーの企画と実施

目 的 海外広告界動向の知識を得る

概 要 海外広告関係者を講師としたウェビナーを企画し開催する

開 催 年数回の開催

2. 広告関係団体への参加、周知等協力

①アドバタイジングウィーク・アジア（東京）への協力

②全日本広告連盟主催 アド・フェスト（タイ・パタヤ）への協力

3. 海外研修団の派遣企画

- ①研修派遣の企画を検討する
- ②参加ニーズと参加費用などを考慮し検討を行う

・イノベーション委員会（委員長：水津龍治）

1. 「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞（JAAA若手大賞）」についての運営

①第13回本賞の発表及び表彰

- 発表日 2026年 4月 1日（水）
- 発表内容 審査結果、審査講評、本賞についての提言等
- 発表媒体 JAAAウェブサイト、他業界紙誌
- 受賞施策への伝達、特典の授与・送付等

②第14回本賞の募集と審査

- ③本賞実行ワーキンググループメンバーの推薦
- ④本賞規約の改定

・PR委員会（委員長：山崎正道）

1. 周年コンテンツを公開しつつ、2027年度の事業について検討する。

- ①日本広告業協会創立75周年関連事業の内容を引き継ぎ（ウェブサイト）、SNS展開を行う（プロモーション）
- ②「広告の広告」を継続実施する
- ③広告会社、広告業界採用支援の方向性など、新事業を検討する

・会報編集委員会（委員長：高澤正行）

1. 2026年度から会報誌の完全ウェブ化を実施し、協会のオウンドメディアの一つとして、読者が活用する場を広げられるメディアに発展させていく。編集方針として、委員会活動・研究内容をはじめ、会員社に留まらず外部有識者にも執筆を依頼し、業界を取り巻く最新事情について幅広く紹介していく

①公開頻度等

- 1) 形態 ウェブ記事
- 2) 更新日 毎月1日、10日、20日頃
- 3) ターゲット 会員社、広告業界関係者、その他

②基本企画

ひと・こと（四半期に1回程度）／Fresh eye／WORLD REPORT／組織におけるAI活用術／アドパーソンがお勧めする、読んでおくべき本／ニューノーマルを生きる令和シニア／コンプライアンス時代の法律知識／若者像へのピントを合わせてみた。／広告業界のいま・これから／「わが社のサステナ！」

・DE&I委員会（委員長：口羽敦子）

活動の共通テーマとして、広告業界がDE&Iを推進することのWHYを明確にすることを掲げ、経営層・広告業界（会員社）・業界で働く個人へアプローチする企画を検討・実施する。

◆**運営委員会（委員長：水島正幸）**

理事会への提出議案及び協会運営に関する事項について検討を行う。

・**入会資格審査委員会（委員長：中島明美）**

入会希望会社の入会資格審査を随時行う。

・**財務委員会（委員長：福井淳一郎）**

年度決算案および年度収支予算案について検討する。

・**吉田秀雄記念賞選考委員会（委員長：神田橋治）**

吉田秀雄記念賞選考を行い、定時総会後の贈賞・表彰式にて贈賞を行う。

・**役員選挙管理委員会（委員長：内藤好之）**

役員候補者（任期2年）選挙の対応を行う。